

平成30年度

決算・業務実績の概要

目 次

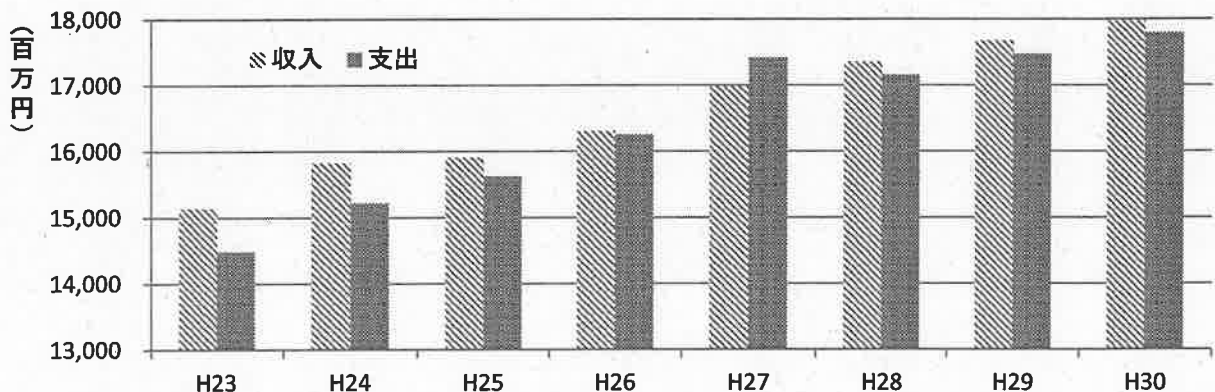
1. 山口県立病院機構の決算見込み（損益計算書ベース）について .....	1
2. 総合医療センターの決算見込み（損益計算書ベース）について .....	5
3. こころの医療センターの決算見込み（損益計算書ベース）について .....	9
4. 平成30年度収支実績の前年度対比 .....	13
5. 平成30年度収支計画と収支実績の対比 .....	15
6. 平成30年度業務実績及び第2期中期目標期間評価 .....	17

## 山口県立病院機構の決算見込み（損益計算書ベース）について

1 平成30年度決算の概況	
決算規模	[収入]179億7,500万円(対前年度比+1.7% +3億100万円) [支出]177億9,700万円(対前年度比+1.8% +3億2,300万円)
収入の状況	○ 医業収益は、入院診療収益や外来診療収益の増等により増加 ○ 臨時利益は、H29年度、将来の退職金給付債務の減少に伴い発生しており皆減
支出の状況	○ 医業費用は、材料費や給与費の増等により増加 ○ 控除対象外消費税は、電子カルテの更新等により増加
経常利益	○ 2億300万円の黒字(昨年度の赤字から好転)
純利益	○ 1億7,800万円の黒字(3年連続)
利益剰余金	○ 残高は、17億3,400万円(3年連続の増加、独法化以降、最高)

2 決算規模・決算収支
○ 決算規模は、収入179億7,500万円、支出177億9,700万円となり、収入支出とも前年度決算額より増加。独法化以降、いずれも増加する傾向
○ 経常利益は昨年度の赤字から黒字に好転、純利益は3年連続の黒字
○ 独法化以降、経常利益、純利益とも概ね黒字を維持しているが、平成27年度は市場金利の低下により将来の退職金給付のため費用(6億1,800万円)を計上したこと等からいずれも大幅な赤字
○ 第2期中期計画(H27～H30年度)で定めた期間中の経常収支の黒字化は未達成(▲2,700万円)

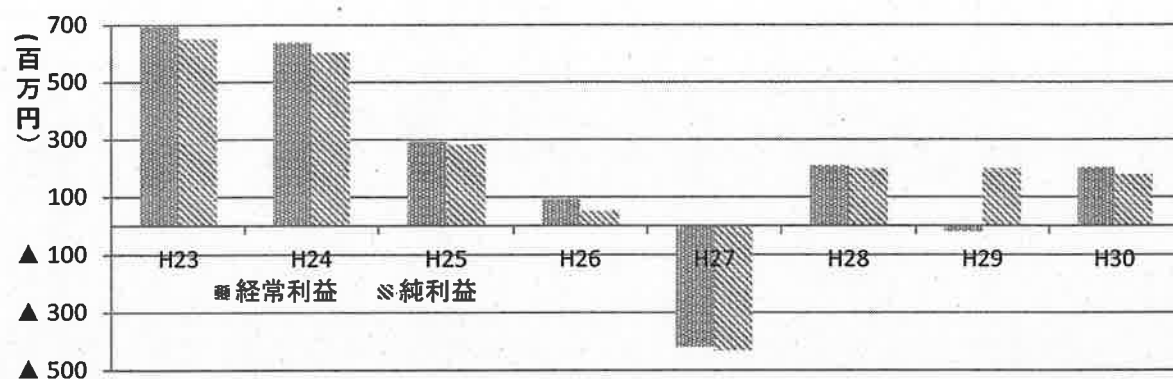
### (1) 決算規模の推移



(単位: 百万円、%)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
収 入	15,134	15,819	15,904	16,304	16,981	17,350	17,674	17,975
前年度比	-	4.5	0.5	2.5	4.2	2.2	1.9	1.7
支 出	14,482	15,215	15,620	16,251	17,414	17,151	17,474	17,797
前年度比	-	5.1	2.7	4.0	7.2	▲1.5	1.9	1.8

(2) 決算収支（経常利益・純利益）の推移



(単位 百万円)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
経常利益	694	639	294	93	▲ 420	209	▲ 19	203
純利益	652	604	283	53	▲ 433	199	199	178

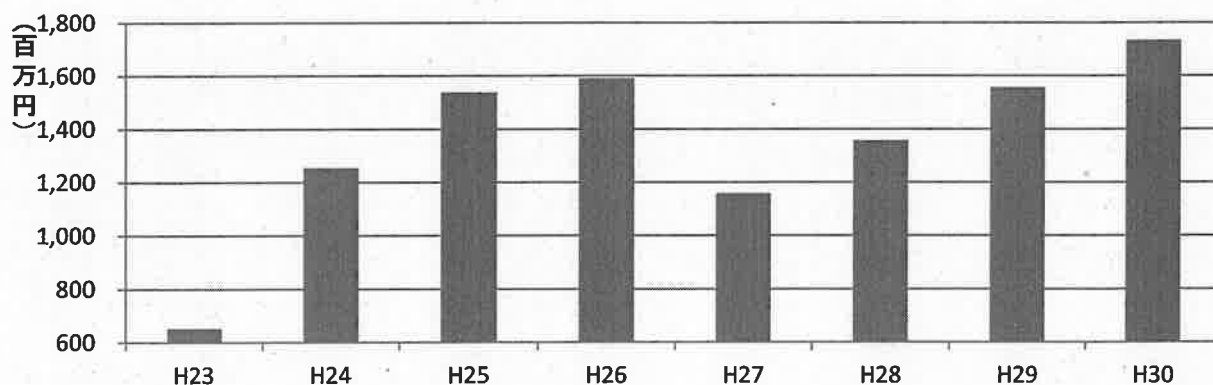
【参考：第2期中期計画（抜粋）】

第3 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

「第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置」で定めた計画を確実に実施することにより、経常収支の改善を図り、中期目標期間内を黒字とする。

3 利益剰余金残高

- 利益剰余金残高は、純利益の黒字により3年連続で増加し、前年度比+11.4% (+1億7,800万円)
- 平成27年度は、将来の退職金給付のため費用を計上したこと等から純利益が赤字となり、利益剰余金の残高が大幅に減少したが、その後、着実に利益剰余金を積み上げ、残高は独法化以降、最高 (第1期中期計画終了時点のH26年度比+1億4,300万円)



(単位 百万円)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
剰余金残高	652	1,255	1,539	1,591	1,159	1,357	1,557	1,734
前年度比	-	92.5	22.6	3.4	▲ 27.2	17.1	14.7	11.4

#### 4 収入

- 医業収益は、入院診療収益、外来診療収益とも増加し、前年度比+3.2% (+4億9,400万円)
  - ・入院診療収益は、診療単価や病床利用率の増（総合C）等により増加
  - ・外来診療収益は、化学療法が増（総合C）等により増加
- 運営費負担金は、共済追加費用の負担に要する経費の減等により、前年度比▲1.0% (▲1,600万円)
- 営業外収益は、賠償金の支払いに伴う保険金の受け取り等（総合C）により、前年度比+34.7% (+4,100万円)
- 臨時利益は、H29年度、将来の退職金給付債務の減少により生じており、皆減 (▲2億3,200万円)
- 独法化以降、医業収益は、増加する一方、運営費負担金は減少する傾向

(単位 百万円、%)

区 分	H30	H29	比 較	
			増減額	増減率
営業収益	17,816	17,325	491	2.8
うち医業収益	15,861	15,367	494	3.2
うち入院診療収益	11,993	11,632	361	3.1
うち外来診療収益	3,594	3,452	142	4.1
うち運営費負担金	1,637	1,650	▲13	▲0.8
営業外収益	159	118	41	34.7
うち運営費負担金	20	23	▲3	▲13.0
臨時利益	0	232	▲232	皆減
収入合計	17,975	17,674	301	1.7
運営費負担金合計	1,657	1,673	▲16	▲1.0

(注) 表示単位未満を四捨五入しているため、各計の数値が、表内計算数値と一致しない場合がある。(以下同じ)

(単位 百万円)

区 分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
営業収益	14,978	15,678	15,738	16,181	16,839	17,222	17,325	17,816
うち医業収益	12,538	13,232	13,763	14,164	14,828	15,189	15,367	15,861
うち入院診療収益	9,537	10,120	10,722	10,959	11,371	11,471	11,632	11,993
うち外来診療収益	2,713	2,866	2,803	2,968	3,196	3,438	3,452	3,594
うち運営費負担金	2,200	2,100	1,670	1,692	1,700	1,708	1,650	1,637
営業外収益	153	141	165	122	142	128	118	159
うち運営費負担金	66	53	45	40	37	28	23	20
臨時利益	3	0	0	0	0	0	232	0
収入合計	15,134	15,819	15,904	16,304	16,981	17,350	17,674	17,975
運営費負担金合計	2,266	2,153	1,715	1,732	1,737	1,736	1,673	1,657

## 5 支出

- 医業費用は、経費が減少したものの、材料費や給与費等の増加により、前年度比+1.1% (+1億8,000万円)
  - ・ 給与費は、職員の増加に伴う給料や賞与の増（総合C）等により増加
  - ・ 材料費は、化学療法の増加に伴う医薬品費の増（総合C）等により増加
  - ・ 経費は、委託料や修繕費の減（総合C）等により減少
- 一般管理費は、本部事務局の給与費の増等により前年度比+2.5% (+700万円)
- 控除対象外消費税は、電子カルテの更新（総合C）等により前年度比+14.4% (+7,800万円)
- 営業外費用は、賠償金の支払い等（総合C）により、前年度比+102.3% (+4,400万円)
- 臨時損失は、特定共同指導に係る返還金の発生（総合C）等により、前年度比+92.3% (+1,200万円)
- 独法化以降、医業費用は増加する傾向

(単位 百万円、%)

区 分	H30	H29	比 較	
			増減額	増減率
営業費用	17,685	17,419	266	1.5
医業費用	16,772	16,592	180	1.1
うち給与費	8,950	8,877	73	0.8
うち材料費	4,306	4,166	140	3.4
うち経費	2,252	2,286	▲ 34	▲ 1.5
うち減価償却費	1,204	1,208	▲ 4	▲ 0.3
一般管理費	287	280	7	2.5
控除対象外消費税等	626	547	79	14.4
営業外費用	87	43	44	102.3
臨時損失	25	13	12	92.3
支 出 合 計	17,797	17,474	323	1.8

(単位 百万円)

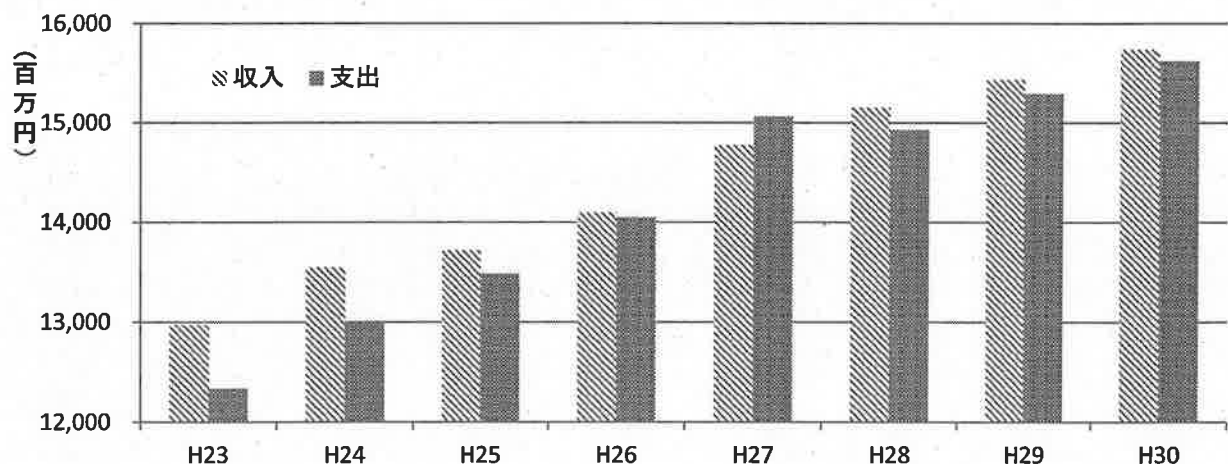
区 分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
営業費用	14,315	15,080	15,524	16,135	17,323	17,087	17,419	17,685
医業費用	13,476	14,302	14,902	15,241	16,442	16,247	16,592	16,772
うち給与費	7,266	7,473	7,690	8,098	8,926	8,575	8,877	8,950
うち材料費	3,322	3,487	3,710	3,680	3,884	4,040	4,166	4,306
うち経費	1,816	2,053	2,176	2,198	2,238	2,204	2,286	2,252
うち減価償却費	1,031	1,238	1,267	1,203	1,332	1,373	1,208	1,204
一般管理費	489	429	302	311	359	305	280	287
控除対象外消費税等	350	349	319	584	522	535	547	626
営業外費用	122	100	85	75	77	54	43	87
臨時損失	45	36	11	41	13	10	13	25
支 出 合 計	14,482	15,215	15,620	16,251	17,414	17,151	17,474	17,797

## 総合医療センターの決算見込み（損益計算書ベース）について

1 平成30年度決算の概況（本部配賦額込）	
決算規模	[収入]157億3,700万円(対前年度比+2.0% +3億300万円) [支出]156億2,200万円(対前年度比+2.2% +3億3,100万円)
収入の状況	○ 医業収益は、入院診療収益や外来診療収益の増等により増加 ○ 臨時利益は、H29年度、将来の退職金給付債務の減少に伴い発生しており皆減
支出の状況	○ 医業費用は、材料費や給与費の増等により増加 ○ 控除対象外消費税は、電子カルテの更新等により増加
経常利益	○ 1億4,000万円の黒字（昨年度の赤字から好転）
純利益	○ 1億1,500万円の黒字（3年連続）

2 決算規模・決算収支
○ 決算規模は、収入157億3,700万円、支出156億2,200万円となり、収入支出とも前年度決算額より増加。独法化以降、いずれも増加する傾向
○ 経常利益は昨年度の赤字から黒字に好転、純利益は3年連続の黒字
○ 独法化以降、経常利益、純利益とも概ね黒字を維持しているが、平成27年度は市場金利の低下により将来の退職金給付のため費用を計上したこと等からいずれも大幅な赤字

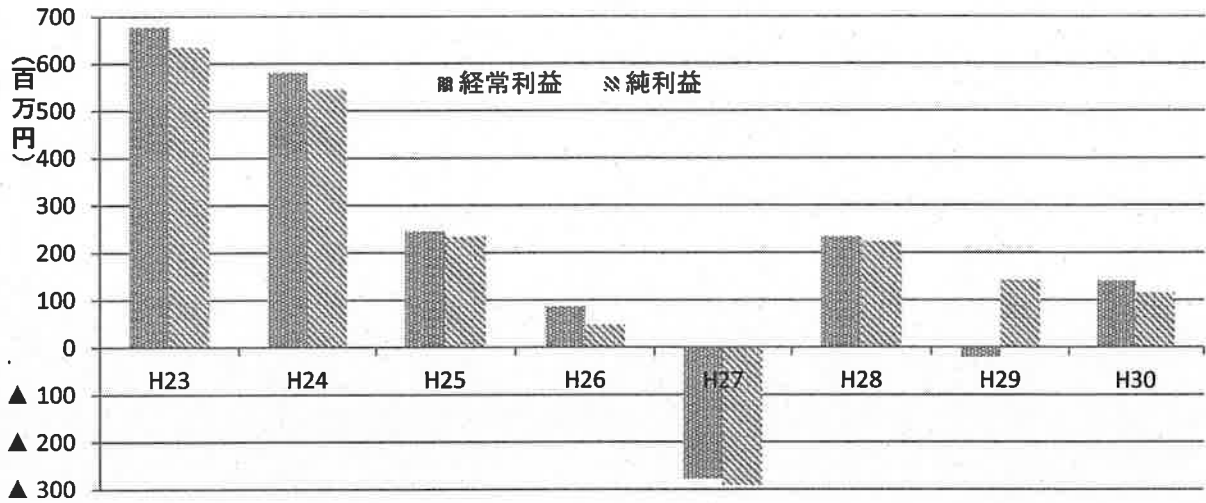
### (1) 決算規模の推移



(単位: 百万円、%)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
収 入	12,970	13,547	13,716	14,094	14,771	15,153	15,434	15,737
前年度比	-	4.4	1.2	2.8	4.8	2.6	1.9	2.0
支 出	12,335	13,002	13,482	14,046	15,062	14,929	15,291	15,622
前年度比	-	5.4	3.7	4.2	7.2	▲ 0.9	2.4	2.2

(2) 決算収支（経常利益・純利益）の推移

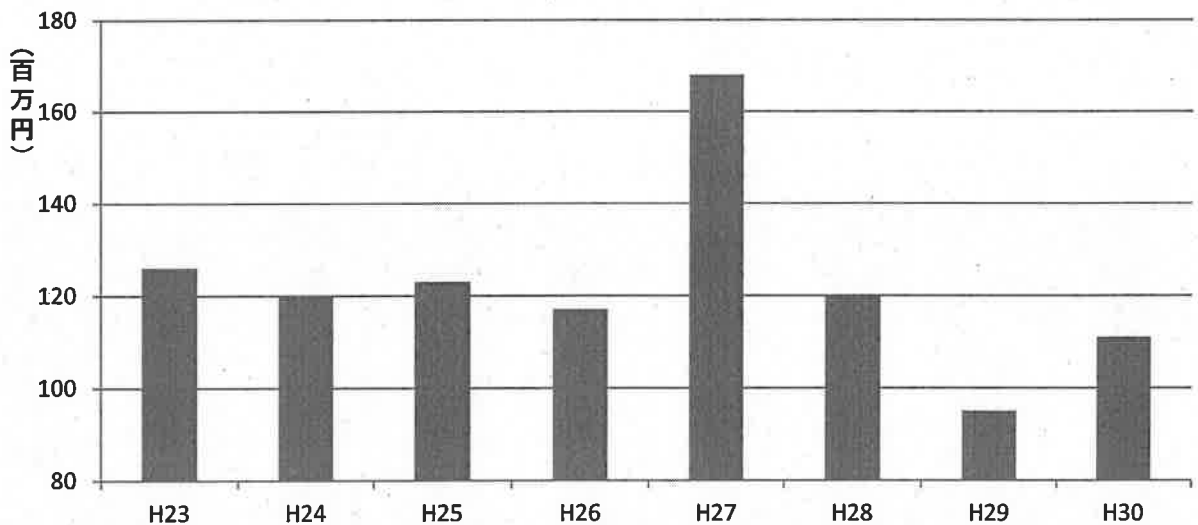


(単位 百万円)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
経常利益	678	581	245	87	▲ 278	234	▲ 20	140
純利益	635	545	234	48	▲ 291	224	143	115

3 本部配賦額

- 本部配賦額は、内部監査室の新設に伴う本部事務局の給与費の増等により、前年度比+16.8% (+1,600万円)
- 平成27年度は、本部職員にかかる将来の退職金給付のため費用を計上したこと等から大幅に増加



(単位 百万円)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
本部配賦額	126	120	123	117	168	120	95	111
前年度比	-	▲ 4.8	2.5	▲ 4.9	43.6	▲ 28.6	▲ 20.8	16.8



#### 4 収入

- 医業収益は、入院診療収益、外来診療収益とも増加し、前年度比+3.0% (+4億1,700万円)
  - ・入院診療収益は、診療単価や病床利用率の増等により増加
  - ・外来診療収益は、化学療法の増等により増加
- 営業外収益は、賠償金の支払いに伴う保険金の受け取り等により、前年度比+43.0% (+4,300万円)
- 臨時利益は、H29年度、将来の退職金給付債務の減少により生じており、皆減 (▲1億7,000万円)
- 独法化以降、医業収益は、増加する一方、運営費負担金は減少する傾向

(単位 百万円、%)

区 分	H30	H29	比 較	
			増減額	増減率
営業収益	15,594	15,164	430	2.8
うち医業収益	14,265	13,848	417	3.0
うち入院診療収益	10,623	10,332	291	2.8
うち外来診療収益	3,369	3,233	136	4.2
うち運営費負担金	1,085	1,082	3	0.3
営業外収益	143	100	43	43.0
うち運営費負担金	10	12	▲2	▲16.7
臨時利益	0	170	▲170	皆減
収入合計	15,737	15,434	303	2.0

運営費負担金合計	1,095	1,094	1	0.1
----------	-------	-------	---	-----

(注) 表示単位未満を四捨五入しているため、各計の数値が、表内計算数値と一致しない場合がある。(以下同じ)

(単位 百万円)

区 分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
営業収益	12,851	13,434	13,578	13,994	14,651	15,044	15,164	15,594
うち医業収益	11,146	11,838	12,243	12,599	13,265	13,647	13,848	14,265
うち入院診療収益	8,308	8,917	9,398	9,602	10,020	10,148	10,332	10,623
うち外来診療収益	2,550	2,676	2,607	2,760	2,985	3,220	3,233	3,369
うち運営費負担金	1,539	1,422	1,153	1,161	1,156	1,155	1,082	1,085
営業外収益	117	113	139	100	120	109	100	143
うち運営費負担金	37	32	26	23	21	14	12	10
臨時利益	2	0	0	0	0	0	170	0
収入合計	12,970	13,547	13,716	14,094	14,771	15,153	15,434	15,737
運営費負担金合計	1,576	1,454	1,179	1,184	1,177	1,169	1,094	1,095

## 5 支出

- 医業費用は、経費が減少したものの、材料費や給与費等の増加により、前年度比+1.2% (+1億7,600万円)
  - ・ 給与費は、職員の増加に伴う給料や賞与の増等により増加
  - ・ 材料費は、化学療法の増加に伴う医薬品費の増等により増加
  - ・ 経費は、委託料や修繕費の減等により減少
- 本部配賦額は、本部事務局の給与費の増等により前年度比+16.8% (+1,600万円)
- 控除対象外消費税は、電子カルテの更新等により前年度比+15.4% (+7,900万円)
- 営業外費用は、賠償金の支払い等により、前年度比+230.0% (+4,600万円)
- 臨時損失は、特定共同指導に係る返還金の発生等により、前年度比+108.3% (+1,300万円)
- 独法化以降、医業費用は増加する傾向

(単位 百万円、%)

区 分	H30	H29	比 較	
			増減額	増減率
営業費用	15,531	15,259	272	1.8
医業費用	14,827	14,651	176	1.2
うち給与費	7,587	7,506	81	1.1
うち材料費	4,217	4,078	139	3.4
うち経費	1,984	2,031	▲ 47	▲ 2.3
うち減価償却費	987	986	1	0.1
本部配賦額	111	95	16	16.8
控除対象外消費税等	593	514	79	15.4
営業外費用	66	20	46	230.0
臨時損失	25	12	13	108.3
支 出 合 計	15,622	15,291	331	2.2

(単位 百万円)

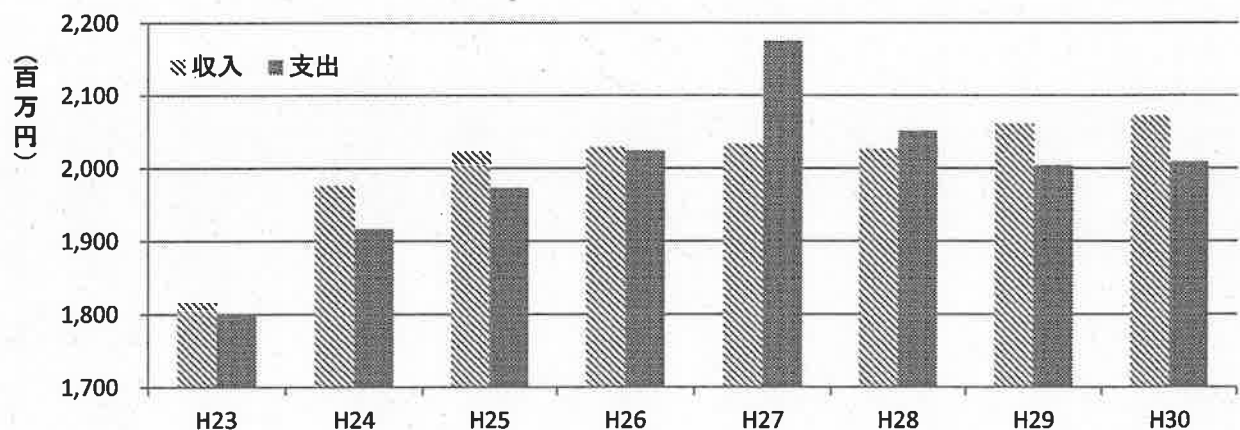
区 分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
営業費用	12,226	12,910	13,425	13,966	15,007	14,894	15,259	15,531
医業費用	11,777	12,490	13,007	13,298	14,350	14,272	14,651	14,827
うち給与費	6,079	6,201	6,388	6,743	7,420	7,179	7,506	7,587
うち材料費	3,244	3,400	3,617	3,591	3,790	3,941	4,078	4,217
うち経費	1,584	1,802	1,909	1,936	1,979	1,956	2,031	1,984
うち減価償却費	838	1,048	1,043	973	1,108	1,149	986	987
本部配賦額	126	120	123	117	168	120	95	111
控除対象外消費税等	323	300	295	552	489	502	514	593
営業外費用	64	56	46	41	45	24	20	66
臨時損失	45	36	11	39	10	10	12	25
支 出 合 計	12,335	13,002	13,482	14,046	15,062	14,929	15,291	15,622

## こころの医療センターの決算見込み（損益計算書ベース）について

1 平成30年度決算の概況（本部配賦額込）	
決算規模	[収入] 20億7,200万円（対前年度比+0.5% +1,100万円） [支出] 20億900万円（対前年度比+0.2% +500万円）
収入の状況	○ 医業収益は、入院診療収益や外来診療収益の増等により増加 ○ 臨時利益は、H29年度、将来の退職金給付債務の減少に伴い発生しており皆減
支出の状況	○ 医業費用は、修繕費の増等により増加
経常利益	○ 6,300万円の黒字（2年連続）
純利益	○ 6,300万円の黒字（2年連続）

2 決算規模・決算収支
○ 決算規模は、収入20億7,200万円、支出20億900万円となり、収入支出とも前年度決算額より増加。収入は平成25年度以降、大きな変化がなく、支出は平成27年度以降、減少する傾向
○ 平成27年から2年間、経常利益、純利益とも赤字に陥ったが、平成29年度以降、2年連続で、いずれも黒字を維持している。
○ 平成27年度は市場金利の低下により将来の退職金給付のため費用を計上したこと等からいずれも大幅な赤字

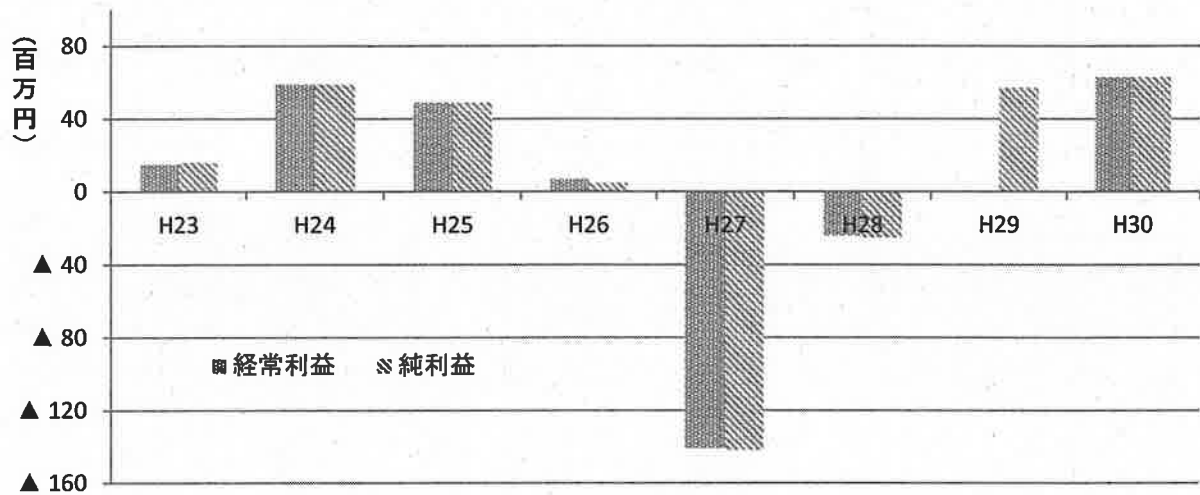
### (1) 決算規模の推移



(単位: 百万円、%)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
収 入	1,815	1,976	2,022	2,029	2,033	2,026	2,061	2,072
前年度比	-	8.9	2.3	0.3	0.2	▲ 0.3	1.7	0.5
支 出	1,799	1,917	1,973	2,024	2,175	2,051	2,004	2,009
前年度比	-	6.6	2.9	2.6	7.5	▲ 5.7	▲ 2.3	0.2

(2) 決算収支（経常利益・純利益）の推移

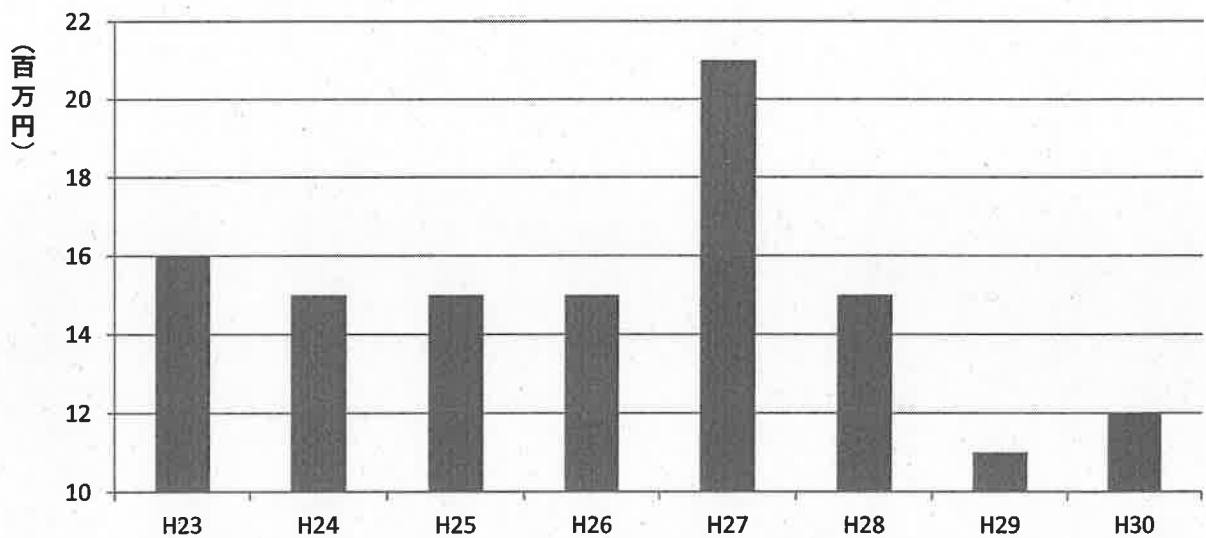


(単位 百万円)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
経常利益	15	59	49	7	▲ 141	▲ 24	0	63
純利益	16	59	49	5	▲ 142	▲ 25	57	63

3 本部配賦額

○ 平成 27 年度は、本部職員にかかる将来の退職金給付のため費用を計上したこと等から大幅に増加



(単位 百万円)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
本部配賦額	16	15	15	15	21	15	11	12
前年度比	-	▲ 6.3	0.0	0.0	40.0	▲ 28.6	▲ 26.7	9.1

#### 4 収入

- 医業収益は、入院診療収益、外来診療収益とも増加し、前年度比+5.1% (+7,700万円)
  - ・入院診療収益は、入院患者数の増等により増加
  - ・外来診療収益は、外来患者数や診療単価の増等により増加
- 運営費負担金は、共済追加費用の負担に要する経費の減等により減少し、前年度比▲2.5% (▲1,000万円)
- 臨時利益は、H29年度、将来の退職金給付債務の減少により生じており、皆減 (▲5,600万円)
- 平成25年度以降、収入合計は大きく変化していない

(単位 百万円、%)

区 分	H30	H29	比 較	
			増減額	増減率
営業収益	2,056	1,987	69	3.5
うち医業収益	1,596	1,519	77	5.1
うち入院診療収益	1,370	1,300	70	5.4
うち外来診療収益	225	219	6	2.7
うち運営費負担金	386	395	▲ 9	▲ 2.3
営業外収益	16	17	▲ 1	▲ 5.9
うち運営費負担金	10	11	▲ 1	▲ 9.1
臨時利益	0	56	▲ 56	皆減
収入合計	2,072	2,061	11	0.5

運営費負担金合計	396	406	▲ 10	▲ 2.5
----------	-----	-----	------	-------

(注) 表示単位未満を四捨五入しているため、各計の数値が、表内計算数値と一致しない場合がある。(以下同じ)

(単位 百万円)

区 分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
営業収益	1,779	1,948	1,995	2,007	2,011	2,007	1,987	2,056
うち医業収益	1,392	1,394	1,520	1,566	1,563	1,542	1,519	1,596
うち入院診療収益	1,228	1,203	1,323	1,357	1,351	1,323	1,300	1,370
うち外来診療収益	163	191	196	208	211	218	219	225
うち運営費負担金	313	382	352	350	367	381	395	386
営業外収益	35	28	26	22	22	19	17	16
うち運営費負担金	29	21	20	17	16	15	11	10
臨時利益	1	0	0	0	0	0	56	0
収入合計	1,815	1,976	2,022	2,029	2,033	2,026	2,061	2,072
運営費負担金合計	342	403	372	367	383	396	406	396

## 5 支出

- 医業費用は、給与費が減少したものの、経費等の増加により前年度比+0.2% (+500万円)
  - ・ 給与費は、賃金職員の減等により減少
  - ・ 経費は、修繕費の増等により増加
- 平成27年度以降、支出合計は減少する傾向

(単位 百万円、%)

区 分	H30	H29	比 較	
			増減額	増減率
営業費用	1,987	1,982	5	0.3
医業費用	1,945	1,941	4	0.2
うち給与費	1,364	1,371	▲ 7	▲ 0.5
うち材料費	88	87	1	1.1
うち経費	269	255	14	5.5
うち減価償却費	218	222	▲ 4	▲ 1.8
本部配賦額	12	11	1	9.1
控除対象外消費税等	30	29	1	3.4
営業外費用	21	23	▲ 2	▲ 8.7
臨時損失	0	0	0	-
支 出 合 計	2,009	2,004	5	0.2

(単位 百万円)

区 分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
営業費用	1,741	1,874	1,933	1,988	2,143	2,021	1,982	1,987
医業費用	1,699	1,812	1,895	1,943	2,092	1,976	1,941	1,945
うち給与費	1,187	1,273	1,302	1,354	1,506	1,397	1,371	1,364
うち材料費	78	87	93	89	94	99	87	88
うち経費	233	251	267	262	259	249	255	269
うち減価償却費	193	190	225	230	224	224	222	218
本部配賦額	16	15	15	15	21	15	11	12
控除対象外消費税等	26	48	23	30	30	30	29	30
営業外費用	58	44	39	34	32	29	23	21
臨時損失	0	0	0	2	0	0	0	0
支 出 合 計	1,799	1,917	1,973	2,024	2,175	2,051	2,004	2,009

平成30年度収支実績の前年度対比

山口県立病院機構

【医業収益】

入院診療収益は、総合医療センターにおける診療報酬改定に伴う診療単価の増により増加。  
 外来診療収益は、総合医療センターにおける外来化学療法に伴う診療単価の増により増加。

【その他収益】

営業収益における運営費負担金は、負担金率見直しに伴う追加費用の負担に要する経費の減により減少。

その他営業収益は、総合医療センターにおける受託収入の増により増加。

その他営業外収益は、総合医療センターにおける保険金の受け取りにより増加。

臨時利益は、会計基準改正に伴う退職給付債務見直しの調整額（H29）により減少。

【医業費用】

給与費は、総合医療センターにおける職員数の増等により増加。

材料費は、総合医療センターにおける化学療法の増に伴う医薬品費の増により増加。

経費は、総合医療センターにおける委託費（その他委託費）及び修繕費の減により減少。

【その他費用】

控除対象外消費税は、総合医療センターにおける病院情報システム更新により増加。

営業外費用は、総合医療センターにおける賠償金の支払いに伴う増により増加。

臨時損失は、総合医療センターにおける平成29年度特定共同指導に伴う返還により増加。

◆対比表（損益計算書ベース）

（単位 千円）

区 分	H29	H30	差額	主な増減内容（前年度対比）
収益の部	17,673,707	17,974,657	300,950	
営業収益	17,324,537	17,816,031	491,494	
医業収益	15,367,178	15,860,941	493,763	
うち入院診療収益	11,631,510	11,993,067	361,557	診療単価の増
うち外来診療収益	3,452,027	3,594,293	142,266	診療単価の増
運営費負担金収益	1,649,744	1,637,041	△12,703	追加費用の負担に要する経費の減
その他営業収益	307,615	318,049	10,434	受託収入の増（総合C）
営業外収益	117,662	158,626	40,964	
運営費負担金収益	22,806	20,273	△2,533	
その他営業外収益	94,856	138,354	43,498	保険金の受け取りに伴う増（総合C）
臨時利益	231,506	0	△231,506	H29年度退職給付債務戻し発生
費用の部	17,474,420	17,796,754	322,334	
営業費用	17,419,319	17,684,607	265,288	
医業費用	16,592,262	16,772,273	180,011	
給与費	8,877,399	8,950,260	72,861	職員増に伴う増（総合C）
材料費	4,165,777	4,305,603	139,826	医薬品費の増（総合C）
経費	2,285,789	2,252,440	△33,349	委託費及び修繕費の減（総合C）
減価償却費	1,208,334	1,204,362	△3,972	
その他医業費用	54,963	59,608	4,645	
一般管理費	280,443	286,789	6,346	
控除対象外消費税等	546,614	625,545	78,931	病院情報システム更新に伴う増（総合C）
営業外費用	42,524	87,198	44,674	賠償金の支払いに伴う増（総合C）
臨時損失	12,577	24,949	12,372	特定共同指導返還に伴う増（総合C）
当期純利益	199,287	177,903	▲ 21,384	
（経常収支）	△19,642	202,852	222,494	

（注）表示単位未満を四捨五入しているため、表内計算数値と一致しない場合がある。



◆平成30年度収支実績の前年度対比表(部門別内訳)

区分	H29収支実績 A				H30収支実績 B				差額 (B-A)				主な増減理由(前年度対比)	
	総合C	ところC	本部	計	総合C	ところC	本部	計	総合C	ところC	本部	計		ところC
収益の部	15,433,975	2,060,828	178,904	17,673,707	15,736,740	2,071,567	166,350	17,974,657	302,765	10,739	△12,554	300,950		
営業収益	15,164,008	1,987,461	173,068	17,324,537	15,594,176	2,055,505	166,350	17,816,031	430,168	68,044	△6,718	491,494		
医業収益	13,848,029	1,519,149	0	15,367,178	14,264,535	1,596,406	0	15,860,941	416,506	77,257	0	493,763		
うち入院診療収益	10,331,684	1,299,826	0	11,631,510	10,622,616	1,370,451	0	11,993,067	290,932	70,625	0	361,557	入院延患者数の増 (57,571人→60,711人)	
うち外来診療収益	3,233,361	218,666	0	3,452,027	3,369,064	225,229	0	3,594,293	135,703	6,563	0	142,266	外来延患者数の増 (32,046人→32,617人)	
運営費負担金収益	1,081,594	395,082	173,068	1,649,744	1,084,679	386,012	166,350	1,637,041	3,085	△9,070	△6,718	△12,703	追加費用の負担に要する経費の減	
その他営業収益	234,385	73,230	0	307,615	244,962	73,087	0	318,049	10,577	△143	0	10,434	委託収入の増	
営業外収益	100,460	17,180	22	117,662	142,564	16,062	0	158,626	42,104	△1,118	△22	40,984		
運営費負担金収益	11,576	11,230	0	22,806	9,803	10,470	0	20,273	△1,773	△760	0	△2,533		
その他営業外収益	88,884	5,950	22	94,856	132,762	5,592	0	138,354	43,878	△358	△22	43,498	保険金の受け取りに伴う増	
臨時利益	169,506	56,186	5,814	231,506	0	0	0	0	△169,506	△56,186	△5,814	△231,506	H29年度退職給付債務 戻し発生	
費用の部	15,196,476	1,993,934	284,010	17,474,420	15,510,722	1,996,875	289,157	17,796,754	314,246	2,941	5,147	322,334		
営業費用	15,164,447	1,970,862	284,010	17,419,319	15,420,028	1,975,422	289,157	17,684,607	255,581	4,560	5,147	265,288		
医業費用	14,650,822	1,941,440	0	16,592,262	14,826,911	1,945,362	0	16,772,273	176,089	3,922	0	180,011		
給与費	7,506,392	1,371,007	0	8,877,399	7,586,501	1,363,759	0	8,950,260	80,109	△7,248	0	72,861	職員増に伴う増	
材料費	4,078,288	87,489	0	4,165,777	4,217,328	88,275	0	4,305,603	139,040	786	0	139,826	医薬品費の増	
経費	2,031,269	254,520	0	2,285,789	1,983,528	288,912	0	2,252,440	△47,741	14,392	0	△33,349	委託費及び修繕費の減	
減価償却費	986,222	222,112	0	1,208,334	986,541	217,821	0	1,204,362	319	△4,291	0	△3,972	修繕費の増	
その他医業費用	48,651	6,312	0	54,963	53,013	6,595	0	59,608	4,362	283	0	4,645		
一般管理費	0	0	280,443	280,443	0	0	286,789	286,789	0	0	6,346	6,346	職員増に伴う増	
控除対象外消費税等	513,625	29,422	3,567	546,614	593,117	30,060	2,368	625,545	79,492	638	△1,199	78,931	病院情報システム更新に伴う増	
営業外費用	19,915	22,609	0	42,524	66,016	21,182	0	87,198	46,101	△1,427	0	44,674	賠償金の支払いに伴う増	
臨時損失	12,114	463	0	12,577	24,678	271	0	24,949	12,564	△192	0	12,372	特定共同指導返還に伴う増	
当期純利益	237,499	66,894	△105,106	199,287	226,018	74,692	△122,807	177,903	△11,481	7,798	△17,701	△21,384		
(経常収支)	80,107	11,171	△110,920	△19,642	250,696	74,962	△122,807	202,852	170,589	63,791	△11,887	222,494		
(経常収支 本部費配賦込)	△19,721	79	0	△19,642	140,169	62,683	0	202,852	159,890	62,604	0	222,494		
経常収支比率	100.53%	100.56%	60.95%	99.89%	101.62%	103.75%	57.53%	101.14%						

(注)表示単位未満を四捨五入しているため、表内計算数値と一致しない場合がある。



## 平成30年度収支計画と収支実績の対比

山口県立病院機構

### 【医業収益】

入院診療収益は、診療単価の減により減少。  
 外来診療収益は、外来延患者数の減により減少。

### 【その他収益】

その他営業収益は、総合医療センターにおける受託収入等の増により増加。  
 その他営業外収益は、総合医療センターにおける保険金の受け取りにより増加。

### 【医業費用】

給与費は、職員数の減により減少。  
 材料費は、総合医療センターにおける化学療法の増に伴う医薬品費の増により増加。  
 経費は、委託費及び修繕費等の減により減少。  
 減価償却費は、建設改良の減により減少。

### 【その他費用】

一般管理費は、職員数の減に伴う給与費の減により減少。

### ◆対比表（損益計算書ベース）

（単位 千円）

区 分	収支計画	収支実績	差額	主な増減内容（計画対比）
収益の部	18,516,792	17,974,657	△542,135	
営業収益	18,403,394	17,816,031	△587,363	
医業収益	16,472,259	15,860,941	△611,318	
うち入院診療収益	12,400,308	11,993,067	△407,241	診療単価の減
うち外来診療収益	3,770,071	3,594,293	△175,778	外来延患者数の減
運営費負担金収益	1,637,328	1,637,041	△287	
その他営業収益	293,807	318,049	24,242	受託収入等の増（総合C）
営業外収益	113,398	158,626	45,228	
運営費負担金収益	20,448	20,273	△175	
その他営業外収益	92,950	138,354	45,404	保険金の受け取りに伴う増（総合C）
臨時利益	0	0	0	
費用の部	18,433,706	17,796,754	△636,952	
営業費用	18,359,559	17,684,607	△674,952	
医業費用	17,259,908	16,772,273	△487,635	
給与費	9,352,600	8,950,260	△402,340	職員数の減
材料費	4,159,712	4,305,603	145,891	医薬品費の増（総合C）
経費	2,355,289	2,252,440	△102,849	委託費及び修繕費等の減
減価償却費	1,322,987	1,204,362	△118,625	建設改良の減
その他医業費用	69,320	59,608	△9,712	
一般管理費	407,068	286,789	△120,279	職員数減に伴う給与費の減
控除対象外消費税等	692,583	625,545	△67,038	
営業外費用	40,766	87,198	46,432	賠償金の支払いに伴う増（総合C）
臨時損失	33,381	24,949	△8,432	
当期純利益	83,086	177,903	94,817	
（経常収支）	116,467	202,852	86,385	

（注）表示単位未満を四捨五入しているため、表内計算数値と一致しない場合がある。

◆平成30年度収支計画と収支実績との対比表(部門別内訳)

計 画 対 比  
(単位:千円)

区分	H30収支計画 A			H30収支実績 B			差額 (B-A)			主な増減理由(計画対比)		
	総合C	ころC	本部	総合C	ころC	本部	総合C	ころC	本部	総合C	ころC	本部
収益の部	16,106,636	2,224,945	185,211	18,516,792	2,071,567	166,350	17,974,657	△153,378	△18,861	△542,135		
営業収益	16,008,400	2,209,783	185,211	18,403,394	2,055,505	166,350	17,816,031	△154,278	△18,861	△587,363		
医療収益	14,718,977	1,753,282	0	16,472,259	1,596,406	0	15,860,941	△156,876	0	△611,318		
うち入院診療収益	10,923,242	1,477,066	0	12,400,308	1,370,451	0	11,993,067	△106,615	0	△407,241	診療単価の減 (23,917円→22,573円)	
うち外来診療収益	3,494,599	275,472	0	3,770,071	225,229	0	3,594,293	△125,535	0	△175,778	外来延患者数の減 (210,328人→197,250人)	
運営費負担金収益	1,066,783	385,334	185,211	1,637,328	386,012	166,350	1,637,041	17,896	△18,861	△287	週産期医療に要する経費の増	給与等の減
その他営業収益	222,640	71,167	0	293,807	73,087	0	318,049	22,322	1,920	24,242	受託収入等の増	
営業外収益	98,236	15,162	0	113,398	16,062	0	158,626	44,328	900	45,228		
運営費負担金収益	9,765	10,683	0	20,448	10,470	0	20,273	38	△213	△175		
その他営業外収益	88,471	4,479	0	92,950	132,762	5,592	138,354	44,291	1,113	45,404	保険金の受け取りに伴う増	
臨時利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
費用の部	15,821,021	2,200,261	412,424	18,433,706	1,996,875	289,157	17,796,754	△203,386	△123,267	△636,952		
営業費用	15,789,239	2,177,896	412,424	18,359,559	1,975,422	289,157	17,684,607	△202,474	△123,267	△674,952		
医療費用	15,116,086	2,143,822	0	17,259,908	1,945,362	0	16,772,273	△289,175	△198,460	△487,635		
給与費	7,842,701	1,509,899	0	9,352,600	1,363,759	0	8,950,260	△256,200	△146,140	△402,340	職員数の減	
材料費	4,051,469	108,243	0	4,159,712	88,275	0	4,305,603	165,859	△19,968	145,891	医薬品費の増	稼働の減少に伴う減
経費	2,067,735	287,554	0	2,355,289	268,912	0	2,252,440	△84,207	△18,642	△102,849	委託費及び修繕費の減	委託費の減
減価償却費	1,093,884	229,103	0	1,322,987	986,541	0	1,204,362	△107,343	△11,282	△118,625	建設改良の減	建設改良の減
その他医療費用	60,297	9,023	0	69,320	53,013	0	59,608	△7,284	△2,428	△9,712		
一般管理費	0	0	407,068	407,068	0	0	286,789	0	△120,279	△120,279	職員数減に伴う給与等の減	
控除対象外消費税等	653,153	34,074	5,356	692,583	593,117	2,368	625,545	△60,036	△4,014	△67,038	建設改良の減	
営業外費用	19,202	21,564	0	40,766	66,016	0	87,198	46,814	△382	46,432	賠償金の支払いに伴う増	
臨時損失	32,580	801	0	33,381	271	0	24,949	△7,902	△530	△8,432		
当期純利益	285,615	24,684	△227,213	83,086	226,018	△122,807	177,903	△59,597	104,406	94,817		
(経常収支)	318,195	25,485	△227,213	116,467	250,696	74,963	202,852	△67,499	104,406	86,385		
(経常収支 本部費配賦込)	113,703	2,764	0	116,467	140,169	62,684	202,853	26,465	59,921	86,386		
経常収支比率	102.02%	101.16%	44.91%	100.63%	103.75%	57.53%	101.14%					

(注)表示単位未満を四捨五入しているため、表内計算数値と一致しない場合がある。

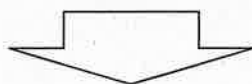
## 平成30年度業務実績及び第2期中期目標期間評価

### ◇ 平成30年度の業務実績評価

#### 1 平成30年度業務実績の自己評価結果

##### (1) 自己評価の方法

- ① 年度計画の個別項目ごとに達成状況を5段階評価（5点、4点、3点、2点、1点）  
※3点が標準（達成度90～100%未満）



- ② 年度計画の4つの大項目ごとに達成状況を5段階評価（s、a、b、c、d）  
※bが標準（評点①の単純平均値2.7以上3.4以下）  
（d/1.8以下、c/1.9～2.6、b/2.7～3.4、a/3.5～4.2、s/4.3以上）



- ③ 年度計画全体の達成状況を5段階評価（S、A、B、C、D）  
※Bが標準（評点②の加重平均値2.7以上3.4以下）  
（D/1.8以下、C/1.9～2.6、B/2.7～3.4、A/3.5～4.2、S/4.3以上）

##### (2) 自己評価の結果

###### ◆全体的な状況

中期計画の進捗は「順調」（A評価）

###### ◆評価概要

区分	評価 項目数	評点別項目数					評点 平均数	評定
		5点	4点	3点	2点	1点		
業務の質の向上	42	4	22	16	0	0	3.7	a
業務運営の改善及び効率化	6	0	3	3	0	0	3.5	a
財政内容の改善	1	0	1	0	0	0	4.0	a
その他重要事項	2	0	1	1	0	0	3.5	a
全体	51	4	27	20	0	0	3.8	A

※全体欄の評点平均値は、加重平均したもの

【参考：平成27～30年度業務実績及び第2期中期目標期間項目別評価一覧】

No	大項目	中項目	小項目	個別項目	事業年度評価				備考 (H29とH30の評価変更理由)	目標 期間 評価
					H27	H28	H29	H30		
1				総合医療センター (No2～No15総括評価)	3	3	3	3		3
2				救急医療	3	3	3	3		3
3				周産期医療	4	4	4	3	体外受精治療周期数の減等	3
4				へき地医療	3	4	4	4		4
5				災害医療	4	4	4	4		4
6				感染症医療	3	4	4	4		4
7				専門医療 (がん) (No8～No9総括評価)	3	4	4	4		4
8				固形がん	3	4	4	4		4
9				血液がん	3	3	3	3		3
10				脳卒中	4	4	4	5	脳血管内手術件数の増等	5
11		1	(1)	急性心筋梗塞	4	3	3	3		3
12				糖尿病	3	3	3	3		3
13				人工関節治療	5	5	5	5		5
14				リハビリテーション	5	5	5	5		5
15				その他	3	4	4	4		4
16				こころの医療センター (No17～No21総括評価)	3	3	3	3		3
17				精神科救急・急性期医療	3	3	3	3		3
18				難治性・重症患者	3	3	3	3		3
19		1		児童・思春期精神科医療	4	3	3	4	専門外来診療延べ患者数の増等	4
20				認知症・高次脳機能障害	4	4	4	5	認知症重症センター相談件数の増等	5
21	第1			司法精神医療体制の向上	3	3	3	3		3
22			(2)	医療従事者確保	4	4	4	4		4
23				医療従事者の専門性向上	4	4	4	4		4
24			(3)	施設設備の整備	3	4	4	4		4
25				医療に関する安全性の確保	4	4	4	4		4
26			(4)	医療品及び医療機器の安全管理	4	4	4	4		4
27				院内感染防止対策	4	4	4	4		4
28				入院から退院までの支援体制の充実	4	4	4	4		4
29				インフォームドコンセントの充実	3	3	3	3		3
30				クリニカルパスの活用	4	4	4	4		4
31			(5)	患者及び家族への相談支援	3	3	3	3		3
32				チーム医療の推進	3	4	4	4		4
33				適正な情報管理	3	3	3	3		3
34				院内サービスの向上	4	4	4	4		4
35				情報の発信	4	4	4	4		4
36				県内医療機関等との連携	4	4	4	4		4
37			(6)	県内医療機関への支援	3	4	4	4		4
38				社会的な要請への協力	3	3	3	3		3
39		2		臨床研究の実施	3	4	4	4		4
40				臨床研修医の受け入れ	4	4	4	4		4
41		3		実習生受け入れ	4	3	3	3		3
42				地域医療従事者の育成	3	3	3	3		3
43				経営管理体制の強化	4	3	3	3		3
44		1		組織、人員配置の弾力的運用	4	4	4	4		4
45	第2			適正な予算執行	3	4	4	4		4
46				2病院の連携	3	3	3	3		3
47		2		収入確保	3	4	3	3		3
48				費用の節減	4	4	4	4		4
49	第3			経常収支の改善	2	4	2	4	経常収支の黒字化	2
50	第4	1		人事に関する計画	3	3	3	3		3
51		2		就労環境に関する計画	4	4	4	4		4

## 2 平成30年度の主要な成果

### (1) 業務の質の向上

#### ① 医療の提供

##### ア 総合医療センター

- (ア) 県の基幹病院として、高度専門医療を充実させるとともに、地域の医療機関との連携体制を強化し、県民により質の高い医療を継続的に提供
- (イ) 県立病院として、救急医療、周産期医療、へき地医療、感染症医療など、他の医療機関では対応困難な医療や不採算医療などについて積極的に対応
- (ウ) へき地等の地域医療を担う総合医を独自のプログラムにより積極的に育成
- (エ) 業務継続計画（BCP）の実効性を高めるための訓練の実施や、災害派遣医療チーム（DMAT）の被災地への派遣
- (オ) 第一種感染症指定医療機関として、エボラ出血熱患者の発生を想定した訓練の実施
- (カ) がんの病態に応じ、化学療法、放射線治療、胸（腹）腔鏡下手術など高度・専門的な医療を引き続き提供
- (キ) 消化器病センターにおいて、内科、外科が連携して高齢者や食道癌などの大手術の患者に対し、術前から、がんリハビリテーションを積極的に実施
- (ク) 県外を含めた多くの患者に対して脳血管手術治療を迅速に実施
  - ・脳血管内手術件数 81 件（計画 50 件）
- (ケ) 人工関節センターでの人工関節（股・膝）置換術件数は中国・四国地方でトップ
  - ・人工関節（股・膝）置換術件数 534 件（計画 300 件）
- (コ) 院内で 365 日リハビリテーションを実施する他、後方支援病院と連携した連続的リハビリテーションを実施
- (サ) その他
  - アレルギーエデュケーターによる小児アレルギー診療体制の充実
  - てんかんに対する高密度脳波計や、脳波ビデオ同時記録装置等による高度な治療の実施

##### イ こころの医療センター

- (ア) 県の医療計画に基づく精神科救急体制の高度化・効率化の推進や、専門医療、司法精神医療の充実
- (イ) 被災地での医療活動のため災害派遣精神医療チーム（DPAT）を派遣
- (ウ) 児童・思春期外来に対する診療体制の強化等
- (エ) 認知症医療センターにおける急性期治療専門医療相談の実施

##### ウ 医療従事者の確保、専門性の向上

- (ア) インターネットを通じた効果的な採用情報の発信に努めるとともに、採用試験の日程の見直し及び随時実施
- (イ) 医師看護師等の研修参加や専門的な資格取得に対する支援

## エ 施設設備の整備

- ・電子カルテの更新や、臨床研修棟新築工事の実施（総合C）

## オ 医療安全対策、患者サービスの向上

- (ア) 転倒・転落事故発生率は両病院共、非常に低い水準を維持
- (イ) 医薬品に関する院内情報誌を定期的に発行するなど、安全管理の充実に向けた取組を推進
- (ウ) 近隣の医療機関との感染症防止に係る地域連携カンファレンスを実施
- (エ) 「入退院支援センター」において、全診療科の予約入院患者等に対し、入院支援を行うとともに、必要に応じ多職種と連携した患者サポートを実施（総合C）
- (オ) 平成30年9月から山口産業保健総合支援センターから両立支援促進員の派遣を受け、月2回、がん等に罹患した患者の治療と仕事の両立に関する相談窓口を開設
- (カ) 病棟再編による各センターの専門性に合わせ、専門・認定看護師がそれぞれの専門分野に関連するチーム医療を実施した（総合C）  
長期入院患者の地域移行の推進のため、多職種支援チーム（地域生活支援MDT）による退院支援を実施（こころC）
- (キ) 患者及び来院者のニーズを把握するため、患者満足度アンケートを実施
  - ・総合センター患者満足度 98.9%（計画 95.0%）
  - ・こころの医療センター患者満足度 94.9%（計画 95.0%）
- (ク) 県民公開講座の開催、病院広報誌の定期発行、テレビ「やまぐち医療最前線」などにより、健康情報や高度・専門医療の現状などの情報を発信

## カ 地域医療への支援

- (ア) 「患者支援連携センター」を設置し、病病連携会議を開催するなど、地域の医療機関との連携体制の強化に努めるとともに、戦略的に地域の医療機関を訪問し、高度急性期・専門医療の提供が必要な患者を当院に積極的に紹介するよう依頼（総合C）
  - ・紹介率 80.5%（50%以上）、逆紹介率 91.3%（70%以上）
  - ※括弧内は地域医療支援病院の承認要件
- (イ) 地域医療支援病院として、院内で行う症例検討会を地域の医療従業者に開放するなど県内医療機関への支援を実施（総合C）
  - ・高度医療機器共同利用総検査件数 1,248 件（前年度 1,038 件）

## ② 医療に関する調査及び研究

- 疫学調査や臨床試験、多施設共同研究等を積極的に受託（総合C）
  - ・製造販売後調査 20 件、治験 3 件

## ③ 医療従事者等の研修

- 研修医の募集活動を実施し、初期臨床研修医、後期臨床研修医を積極的に受入（総合C）（初期研修医 29 人、後期研修医 5 人）

(2) 業務運営の改善等

① 効率的・効果的な業務運営、経営改善

- ア 経営管理体制の強化  
内部統制の推進に必要となる組織体制や規程等の整備を実施
- イ 組織・人員配置の弾力的運用  
リハビリテーションの充実のため理学療法士3名、作業療法士3名を増員  
(総合C)
- ウ 2病院の連携  
医療機器導入の交渉等を連携して実施

② 収入の確保、費用の節減・適正化

- ア 収入の確保  
病棟を跨ぐ、きめ細やかなベットコントロールにより病床を効率的に運用  
(総合C)  
外部委託により平成28年度から約14,500千円の未収金を回収 (総合C)

平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計
約6,600千円	約4,500千円	約3,400千円	約14,500千円

- イ 費用の節減  
全国の医療機関のデータに基づくベンチマークによる価格交渉などにより、適正な価格での契約・購入を実施
  - ・材料費対医業収益比率 29.6% (計画29%以下) (総合C)
  - ・材料費対医業収益比率 5.5% (計画7%以下) (こころC)

(3) 財務内容の改善

経常収支の改善

- ア 収支実績  
病院機構全体の経常利益は、昨年度の赤字から黒字に好転

(単位：千円)

区分	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画	H30実績	差引
総合C	△113,219	354,006	80,107	318,195	250,696	△67,499
こころC	△121,422	△9,442	11,173	25,485	74,962	49,478
機構本部	△185,015	△135,409	△110,920	△227,213	△122,807	104,406
法人全体	△419,656	209,155	△19,640	116,467	202,852	86,385

- イ 収入及び支出の状況  
収入の部は、前年度に比べ、300,950千円増加
  - ・入院診療収益は、診療単価や病床利用率の増 (総合C)等
  - ・外来診療収益は、診療単価の増 (総合C)等

《参考》

区 分		H27 実績		H28 実績		H29 実績		H30 実績	
		総合C	こころC	総合C	こころC	総合C	こころC	総合C	こころC
入院	延患者数 (人)	155,241	61,715	151,715	59,199	155,306	57,571	156,372	60,711
	診療単価 (円)	64,547	21,883	66,891	22,226	66,525	22,578	67,932	22,573
外来	延患者数 (人)	212,031	33,527	210,009	32,509	200,709	32,046	197,250	32,617
	診療単価 (円)	14,076	6,308	15,331	6,717	16,110	6,824	17,080	6,905

支出の部は、前年度に比べ、322,334千円増加。

- ・職員数増に伴う増、診療材料費の増(総合C)等

ウ 経営指標の状況

- ・法人全体経常収支比率 101.1% (前年度 99.9%)
- ・総合医療センター経常収支比率 101.6% (前年度 100.5%)
- ・こころの医療センター経常収支比率 103.8% (前年度 100.6%)
- ・総合医療センター医業収支比率 96.2% (前年度 94.5%)
- ・こころの医療センター医業収支比率 82.1% (前年度 78.3%)
- ・総合医療センター流動性比率 185.3% (前年度 198.0%)
- ・こころの医療センター流動性比率 420.8% (前年度 414.2%)

(単位：百万円)

区 分	総合C	こころC	機構本部	法人全体
総収益	15,737	2,072	166	17,975
経常収益	15,737	2,072	166	17,975
営業収益	15,594	2,056	166	17,816
うち医業収益	14,265	1,596	0	15,861
営業外収益	143	16	0	159
臨時利益	0	0	0	0
総費用	15,511	1,997	289	17,797
経常費用	15,486	1,997	289	17,772
営業費用	15,420	1,975	289	17,685
うち医業費用	14,827	1,945	0	16,772
営業外費用	66	21	0	87
臨時損失	25	0	0	25
経常損益	251	75	△123	203
純利益	226	75	△123	178



#### (4) その他重要事項

##### ① 人事に関する事項

職種別人材の需給状況や医療機関の採用状況などの情報収集に努め、採用試験のあり方について検証を行った上で、総合医療センター推薦枠の拡充及び採用試験時期の前倒しを実施(総合C)

##### ② 就労環境に関する事項

職員満足度アンケート調査の結果をもとに、業務用PCの増設等、就労環境の改善を促進

### 3 対処すべき課題

#### (1) 県立病院として積極的に対応すべき医療の充実(総合医療センター) No.1

県立病院として、救急医療、周産期医療、へき地医療、災害医療、感染症医療など、他の医療機関では対応困難な医療や不採算医療などに対する積極的な取組が必要である。

また、多くの専門診療科を有する県の基幹病院として、高度専門医療を充実させるとともに、地域の医療機関との連携体制を強化させ、県民に対し、より質の高い医療の継続的な提供が必要である。

さらに、病院本館は、築30年を経過し、老朽化と狭隘化が進んでおり、建替を含めた総合的な施設整備計画の検討が必要である。

#### (2) 県立病院として積極的に対応すべき医療の充実(こころの医療センター) No.16

精神科における本県の基幹病院として、県民の心の健康を支える質の高い医療の継続的な提供が必要である。

#### (3) 医療従事者の確保 No.22

医療の質の向上を図るため、高度専門医療を担う医師の確保に努める必要がある。また、ICU等の重症化ユニットを運用するための専門性の高い看護師の育成に努める必要がある。

#### 4 従前の評価結果等の活用状況

評価結果等の確定日	指 摘 事 項 等	指摘事項等への対応等									
平成 30 年 8 月 14 日 (H29 事業年度評価)	<p>1 評価結果 財務内容については、医業収益が見込みを下回ったことなどから病院機構全体の経常費用に対する経常収益の割合が、年度計画の100%以上を下回り年度計画はやや未達成となっており、中期計画の進捗はやや遅れている。</p> <p>2 中期計画への進捗の遅れが指摘された事項 大項目/財務内容の改善に関する事項 小項目/経常収支の改善 (NO. 49)</p>	<p>医業収益の確保や経営の効率化などに努めた結果、平成30年度決算においては、経常収支を黒字に好転させることができた。</p> <p>(単位 百万円、%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>29 実績</th> <th>30 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常利益</td> <td>▲19</td> <td>203</td> </tr> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>99.9</td> <td>101.1</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	29 実績	30 実績	経常利益	▲19	203	経常収支比率	99.9	101.1
区 分	29 実績	30 実績									
経常利益	▲19	203									
経常収支比率	99.9	101.1									

◇ 平成30年度決算

1 企業会計ベース

(1) 貸借対照表の要旨 (平成31年3月31日現在)

(単位 百万円)

資産の部		負債及び純資産の部	
固定資産	13,519	固定負債	13,061
有形固定資産	12,704	資産見返負債	1,066
土地	3,734	長期借入金	2,717
建物	6,976	移行前地方債償還債務	3,935
器械備品	1,979	退職給付引当金	5,342
その他	15	流動負債	4,192
無形固定資産	814	一年以内返済予定	952
投資その他の資産	1	未払金	2,630
流動資産	8,613	その他	610
現金及び預金	5,509	【負債合計】	17,253
未収入金	3,043	資本金	3,144
その他	61	利益剰余金	1,734
		【純資産合計】	4,879
合計	22,132	合計	22,132

(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。以下同じ。

(2) 損益計算書の要旨 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(単位 百万円)

費用及び損益の部		収益の部	
営業費用	17,685	営業収益	17,816
医業費用	16,772	医業収益	15,861
一般管理費	287	運営費負担金収益	1,637
その他	626	その他	318
営業外費用	87	営業外収益	159
臨時損失	25	運営費負担金収益	20
当期純利益	178	その他	139
		臨時利益	0
合計	17,975	合計	17,975

2 官庁会計ベース

(単位 百万円)

収入の部		支出の部	
営業収益	17,727	営業費用	16,457
医業収益	15,883	医業費用	15,970
運営費負担金収益	1,637	一般管理費	302
その他	207	その他	185
営業外収益	165	営業外費用	88
運営費負担金収益	20	臨時損失	0
その他	145	資本支出	2,438
臨時利益	0	建設改良費	1,572
資本収入	1,500	償還金	866
長期借入金	1,500	資金収支	409
その他資本収入	0		
合計	19,392	合計	19,392

◇ 第2期中期目標期間の業務実績評価

1 第2期中期目標期間の自己評価結果

(1) 自己評価の方法

- ① 中期計画の個別項目ごとに達成状況を5段階評価（5点、4点、3点、2点、1点）  
※3点が標準（達成度90～100%未満）



- ② 中期計画の4つの大項目ごとに達成の状況を5段階評価（s、a、b、c、d）  
※bが標準（評点①の単純平均値2.7以上3.4以下）  
（d/1.8以下、c/1.9～2.6、b/2.7～3.4、a/3.5～4.2、s/4.3以上）



- ③ 中期計画全体の達成の状況を5段階評価（S、A、B、C、D）  
※Bが標準（評点②の加重平均値2.7以上3.4以下）  
（D/1.8以下、C/1.9～2.6、B/2.7～3.4、A/3.5～4.2、S/4.3以上）

(2) 自己評価の結果

◆全体的な状況

中期目標を「概ね達成」（B評価）

◆評価概要

区分	評価項目数	評点別項目数					評点平均数	評定
		5点	4点	3点	2点	1点		
業務の質の向上	42	4	22	16	0	0	3.7	a
業務運営の改善及び効率化	6	0	3	3	0	0	3.5	a
財政内容の改善	1	0	0	0	1	0	2.0	c
その他重要事項	2	0	1	1	0	0	3.5	a
全体	51	4	26	20	1	0	3.4	B

※全体欄の評点平均値は、加重平均したもの

## 2 第2期中期計画期間の主要な成果

### (1) 業務の質の向上

#### ① 医療の提供

##### ア 総合医療センター

- (ア) 多くの専門診療科を有する県の基幹病院として、臓器や疾患別に高度・専門医療を効率的・効果的に提供できるようセンター化を実施するとともに、地域の医療機関との連携体制を強化し、県民により質の高い医療を継続的に提供
- (イ) 総合周産期母子医療センターとして、他の医療機関等から紹介されたハイリスク妊婦や重篤な新生児を引き受け、高度で専門的な医療を提供
- (ウ) 県外を含めた多くの患者に対して脳血管手術治療を迅速に実施
  - ・脳血管内手術件数（中期計画 50 件→平成 30 年度実績 81 件）
- (エ) 人工関節センターでの人工関節（股・膝）置換術件数は中国・四国地方でトップクラス
  - ・人工関節（股・膝）置換術件数（中期計画 300 件→平成 30 年度実績 534 件）
- (オ) 院内で 365 日リハビリテーションを実施する他、後方支援病院と連携した連続的リハビリテーションを実施
- (カ) その他
  - 遺伝カウンセリング室を設置し、各診療科から遺伝性疾患のカウンセリング希望者を受入れ

##### イ こころの医療センター

- (ア) 精神科専門医療が必要な患者と家族を誠実に支援するとともに、地域社会や関係機関と連携した質の高い医療を提供
- (イ) 児童・思春期外来に対する診療体制の強化、充実
- (ウ) 認知症医療センターにおける急性期治療専門医療相談の実施

##### ウ 医療従事者の確保、専門性の向上

- (ア) インターネットなどを通じた効果的な採用情報の発信や、採用試験の日程の見直し等
- (イ) 医師看護師等の研修参加や専門的な資格取得に対する支援

##### エ 施設設備の整備

- ・平成 28 年度、臓器・疾患別のセンター化と地域包括ケア病棟の導入を行う「病棟再編」のため病室及び診察室等の改修工事を実施（総合 C）

##### オ 医療安全対策、患者サービスの向上

- (ア) 全病棟に病棟薬剤師を配置し、薬剤の適正使用を推進（総合 C）
- (イ) 摂食嚥下認定看護師と栄養サポートチームが協働し、誤嚥性肺炎患者に対する医療を提供（総合 C）
  - 長期入院患者の地域移行の推進のため、多職種支援チーム（地域生活支援 MD T）による退院支援を実施（こころ C）

## カ 地域医療への支援

(ア) 平成30年度、「患者支援連携センター」を設置し、病病連携会議を開催するなど、地域の医療機関との連携体制の強化に努めるとともに、戦略的に地域の医療機関を訪問し、高度急性期・専門医療の提供が必要な患者を当院に積極的に紹介するよう依頼（総合C）

- ・紹介率（中期計画 60%→平成30年度実績 80.5%）
- ・逆紹介率（中期計画 80%→平成30年度実績 91.3%）

(イ) 地域医療機関の情報を当院ホームページへ掲載する他、リーフレットを作成するなど、かかりつけ医に関する情報を提供

### ② 医療に関する調査及び研究

疫学調査や臨床試験、多施設共同研究等を積極的に受託

### ③ 医療従事者等の研修

研修医の募集活動を実施し、初期臨床研修医、後期臨床研修医を積極的に受入

## (2) 業務運営の改善等

### ① 効率的・効果的な業務運営、経営改善

#### ア 経営管理体制の強化

内部統制の推進に必要となる組織体制や規程等の整備を実施

#### イ 組織・人員配置の弾力的運用

医療ニーズや業務環境を踏まえ適切な人員配置を実施

#### ウ 2病院の連携

医療機器導入の交渉等を連携して実施

### ② 収入の確保、費用の節減・適正化

#### ア 収入の確保

外部委託により平成28年度から約14,500千円の未収金を回収（総合C）

#### イ 費用の節減

全国の医療機関のデータに基づくベンチマークによる価格交渉などにより、適正な価格での契約・購入を実施

- ・材料費対医業収益比率（中期計画 29%以下→平成30年度実績 29.6%）  
（総合C）
- ・材料費対医業収益比率（中期計画 7%以下→平成30年度実績 5.8%）  
（こころC）

## (3) 財務内容の改善

### ① 経常収支の改善

病院機構全体の経常収益は、H27年度とH29年度が赤字となり、第2期中期目標期間内も▲27百万円の赤字

## ② 剰余金の使途

剰余金 1,734 百万円の内、734 百万円を第 3 期中期計画に定めた業務の財源に充て、残余の 1,000 百万円を県に納付

## (4) その他重要事項

### ① 人事に関する事項

職種別人材の需給状況や医療機関の採用状況などの情報収集に努め、採用試験のあり方について検証を行った上で、総合医療センター推薦枠の拡充及び採用試験時期の前倒しを実施(総合C)

### ② 就労環境に関する事項

職員満足度アンケート調査の結果をもとに、トイレの改修や業務用PCの増設等、職員の就労環境の改善を促進

## 3 対処すべき課題

### (1) 県立病院として積極的に対応すべき医療の充実(総合医療センター) No.1

県立病院として、救急医療、周産期医療、へき地医療、災害医療、感染症医療など、他の医療機関では対応困難な医療や不採算医療などに対する積極的な取組が必要である。

また、多くの専門診療科を有する県の基幹病院として、高度専門医療を充実させるとともに、地域の医療機関との連携体制を強化させ、県民に対し、より質の高い医療の継続的な提供が必要である。

さらに、病院本館は、築 30 年を経過し、老朽化と狭隘化が進んでおり、建替を含めた総合的な施設整備計画の検討が必要である。

### (2) 県立病院として積極的に対応すべき医療の充実(こころの医療センター) No.16

精神科における本県の基幹病院として、県民の心の健康を支える質の高い医療の継続的な提供が必要である。

### (3) 医療従事者の確保 No.22

医療の質の向上を図るため、高度専門医療を担う医師の確保に努める必要がある。また、ICU等の重症化ユニットを運用するための専門性の高い看護師の育成に努める必要がある。

### (4) 経常収支の改善 No.49

平成 27 年度及び平成 29 年度決算において、当病院機構全体で経常収益がマイナスとなり、中期目標期間内の経常収支も赤字となった。引き続き、医業収益の確保や経営の効率化など、さらなる経営基盤の強化を図る必要がある。

#### 4 従前の評価結果等の活用状況

評価結果等の確定日	指 摘 事 項 等	指摘事項等への対応等
平成30年8月14日 (中期目標期間見込み評価)	<p>1 評価結果 財務内容については、平成27年度と平成29年度の経常費用に対する経常収益の割合が100%を下回っており、中期目標はやや未達成の見込みとなっている。</p> <p>2 中期目標はやや未達成と指摘された事項 大項目/財務内容の改善に関する事項 小項目/経常収支の改善 (NO. 49)</p>	<p>医業収益の確保や経営の効率化などに努めた結果、平成30年度決算においては、経常収支を黒字に好転させることができたが、中期目標期間内の経常収支を黒字とすることはできなかった。(▲27百万円)</p> <p>今後は、第3期中期目標期間中の経常収支の黒字化に向けて、さらなる経営基盤の強化に努める。</p>



## 平成 30 年度事業年度評価（判断の目安）

### 〈個別項目別評価〉

評価基準	数値目標に関する項目	取組目標に関する項目 (左欄の項目以外の項目)
5 年度計画を十二分に達成	達成度 120%以上	取組の結果、所期の目的を上回る優れた成果等を得たとき
4 年度計画を十分達成	達成度 100～120%未満	取組の結果、所期の目的を上回る成果等を得たとき
3 年度計画を概ね達成 【標準】	達成度 90～100%未満	取組の結果、所期の成果等を得たとき
2 年度計画はやや未達成	達成度 70～90%未満	取り組んではいるが、所期の成果等を得られなかったとき
1 年度計画は未達成	達成度 70%未満	取組が行われていないとき

### 〈大項目別評価〉

評価基準	大項目内の個別項目別評価の評点平均値 (小数点以下第2位四捨五入)
s 中期計画の進捗は優れて順調	4. 3以上
a 中期計画の進捗は順調	3. 5 ～ 4. 2
b 中期計画の進捗は概ね順調 【標準】	2. 7 ～ 3. 4
c 中期計画の進捗はやや遅れている	1. 9 ～ 2. 6
d 中期計画の進捗は遅れている	1. 8以下

### 〈全体評価〉

評価基準	大項目内の個別項目別評価の評点平均値を それぞれ各大項目のウエイトで乗じて得た 数値の合計値 (小数点以下第2位四捨五入)
S 中期計画の進捗は優れて順調	4. 3以上
A 中期計画の進捗は順調	3. 5 ～ 4. 2
B 中期計画の進捗は概ね順調 【標準】	2. 7 ～ 3. 4
C 中期計画の進捗はやや遅れている	1. 9 ～ 2. 6
D 中期計画の進捗は遅れている	1. 8以下

## 第2期中期目標期間評価（判断の目安）

### 〈個別項目別評価〉

評価基準	数値目標に関する項目	取組目標に関する項目 (左欄の項目以外の項目)
5 中期計画を十二分に達成	達成度 120%以上	取組の結果、所期の目的を上回る優れた成果等を得たとき
4 中期計画を十分達成	達成度 100～120%未満	取組の結果、所期の目的を上回る成果等を得たとき
3 中期計画を概ね達成 【標準】	達成度 90～100%未満	取組の結果、所期の成果等を得たとき
2 中期計画はやや未達成	達成度 70～90%未満	取り組んではいるが、所期の成果等を得られなかったとき
1 中期計画は未達成	達成度 70%未満	取組が行われていないとき

### 〈大項目別評価〉

評価基準	大項目内の個別項目別評価の評点平均値 (小数点以下第2位四捨五入)
s 中期目標を十二分に達成	4.3以上
a 中期目標を十分達成	3.5 ～ 4.2
b 中期目標を概ね順調 【標準】	2.7 ～ 3.4
c 中期目標はやや未達成	1.9 ～ 2.6
d 中期目標は未達成	1.8以下

### 〈全体評価〉

評価基準	大項目内の個別項目別評価の評点平均値をそれぞれ各大項目のウエイトで乗じて得た数値の合計値 (小数点以下第2位四捨五入)
S 中期目標を十二分に達成	4.3以上
A 中期目標を十分達成	3.5 ～ 4.2
B 中期目標を概ね達成 【標準】	2.7 ～ 3.4
C 中期目標はやや未達成	1.9 ～ 2.6
D 中期目標は未達成	1.8以下